

科目名: <b>FPのためのライフプランニングと資金計画</b>		科目コード	EH56	
科目主査: <b>佐藤 益弘</b>		担当講師: <b>佐藤 益弘</b>	単位	2
			配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	カメラ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要	
<p>ライフプランニングとは、生涯にわたって自分と家族の生活を設計することです。          本科目では、教育、住宅、老後といった三大資金計画について、ローンを含めた課題と設計の内容について学習します。さらにリタイアメントプランの考え方を把握し、医療、介護、年金等の社会保険・公的年金制度と、それを補完する私的年金制度の仕組みについても理解を深めます。</p>				
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:		
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>日々のニュースの中で「教育」「住宅」「社会保険(社会保障)」に関わると思える点に注目しておいてください。          また、テキストは完全に理解できなくとも、専門用語等に慣れるため、一読しておいてください。</p>			
テキスト	ファイナンシャルプランナー基本テキスト『ライフプランニングと資金計画』TAC			
この科目の到達目標	<p>①不動産価格(評価)、不動産関連法律及び税務の基礎的知識、不動産の投資や有効活用方法について説明することができる。          ②事例を基に、税法、都市計画法、建築基準法に基づく計算や、不動産運用の問題点の把握と解決策の提案ができる。</p>			
成績評価の方法	<p>1日目の確認テスト(テキストの持込可)および最終試験(テキストの持込不可)とします。きちんと授業を聞くようにしましょう。          休み時間後の遅刻は、減点の対象とします。</p>			
事後学習	<p>・社会が多様化複雑化する中で、講義で得た知識を実生活で活かせるよう、今後も継続的に新聞やインターネットで情報収集に努めてください。          ・また、FP技能検定試験も、是非、受験してください。</p>			
事後学習の参考文献	<p>昨今の情勢や最新的话题を入手するには、日本経済新聞を薦めます。状況だけでなく、その背景なども理解することは非常に大切です。資格試験受験のための教材については、WEBで過去問を確認し、不明な点はテキストなどと照らし合わせ確認するようにしてください。</p>			
スクーリング受講時に用意するもの				
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓				